

1 積・商の大きさについて確かめておきましょう。

(1) 次の式をもとに()に記号や言葉を入れましょう。

ア 6×1.5 イ 6×0.3 ウ 6×0.5 かけられる数「6」より積が大きくなるのは
()の式です。かける数が、1より小さい
ときと、大きいときに分け
て整理しましょう。小数のかけ算では、1より()数をかけると、
その積は、かけられる数より()なります。

(2) 次の式をもとに()に記号や言葉を入れまよう。

ア $6 \div 1.5$ イ $6 \div 0.3$ ウ $6 \div 0.5$

わられる数「6」より商が大きくなるのは()()の式です。

小数のわり算では、1より()数でわると、
その商は、わられる数より()なります。

2 あまりのあるわり算について確かめておきましょう。

(1) $3.2 \div 0.9$ の計算で、商を小数第1位まで求め、あまりを出しましょう。

$$0.9 \overline{) 3.2}$$

あまりの小数点は、わられる数の
もとの小数点にそろえます。(2) $3.2 \div 0.9$ の ^{けんざん} 検算をしましょう。

$$\square \times \square + \square = \square$$

わる数 × 商 + あまり = わられる数

1 積・商の大きさについて確かめておきましょう。

(1) 次の式をもとに () に記号や言葉を入れましょう。

- ア 6×1.5 イ 6×0.3 ウ 6×0.5

かけられる数「6」より積が大きくなるのは
(ア) の式です。

かける数が、1より小さいときと、大きいときに分けて整理しましょう。



小数のかけ算では、1より(小さい)数をかけると、その積は、かけられる数より(小さく)なります。

「小数のかけ算では、1より(大きい)数をかけると、その積は、かけられる数より(大きく)なります。」も可

(2) 次の式をもとに () に記号や言葉を入れまよう。

- ア $6 \div 1.5$ イ $6 \div 0.3$ ウ $6 \div 0.5$

わられる数「6」より商が大きくなるのは(イ)(ウ) の式です。

小数のわり算では、1より(小さい)数でわると、その商は、わられる数より(大きく)なります。

「小数のわり算では、1より(大きい)数でわると、その商は、わられる数より(小さく)なります。」も可

2 あまりのあるわり算について確かめておきましょう。

(1) $3.2 \div 0.9$ の計算で、商を小数第1位まで求め、あまりを出しましょう。

$$\begin{array}{r}
 3.5 \\
 0.9 \overline{) 3.2} \\
 \underline{27} \\
 50 \\
 \underline{45} \\
 0.05
 \end{array}$$

あまりの小数点は、わられる数のもとの小数点にそろえます。



(2) $3.2 \div 0.9$ の ^{けんざん} 検算をしましょう。

$$\boxed{0.9} \times \boxed{3.5} + \boxed{0.05} = \boxed{3.2}$$

わる数 × 商 + あまり = わられる数